

(様式第7号)

令和元年度 年度評価表

1 指定管理施設の概要

施設名	五老ヶ岳公園		
指定管理者	一般財団法人有本積善社		
設置目的	自然とのふれあいの場、レクリエーションの場、市内外からの来園者に憩いと潤いを提供する観光施設とするため。		
選定方法	公募・非公募	指定期間	平成29年4月1日～ 令和4年3月31日
所管課	建設部土木課		

2 利用状況等の推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	年度	年度
利用者数(人)	47,393人	42,984人	53,631人		
利用料金(円)	8,704,450円	7,839,250円	9,986,600円		
指定管理料(円)	16,310,000円	16,310,000円	16,310,000円		

3 成果(数値)目標の達成状況

成果(数値)目標の種類	市設定目標	年間目標(A)	実績(B)	達成率(B/A)
五老ヶ岳公園展望タワーの利用人数	47,000人	48,000人	53,631人	112%

4 収支状況

(円)

収入		支出	
利用料金	9,986,600	人件費	7,100,305
指定管理料	16,310,000	維持管理費	12,768,998
事業収入	21,133,680	事業費	23,445,317
その他	0	その他	3,703,367
合計	47,430,280	合計	47,017,987
差額			412,293

5 所管課による評価

項目	評価	コメント
(1) 事業計画の達成度		
成果(数値)目標を達成しているか	◎	市設定目標値を上回り達成できた。観光バスの誘致などを行い、2月時点で目標達成が可能である状態となっていた。
施設の将来的な構想(ビジョン)に沿った運営を行ったか	○	概ね実施されていた。
施設の果たすべき使命(ミッション)を果たしたか	○	概ね果たされていた。
市指定事業、自主事業は計画どおり行われたか	○	概ね計画通り実施できた。
利用者数の増加、利用率の上昇などが図られたか	○	市設定目標を達成すべく、観光バス誘致や来客対応を丁寧に行い、誘客努力が見られた。
(2) 利用者の満足度		
利用者の満足が得られたか	○	概ね得られた。
利用者の意見・要望の把握は適切に行われたか	○	年間を通して、アンケートを実施していた。
利用者の要望・苦情への対応は十分に行われたか	○	対応できていた。

(3) 管理運営の効率性		
経費の節減が図られたか	○	修繕等を自社職員で実施するなど、外注発注費用の抑制など削減を図っていた。
委託費、物品の購入費等の経費が最小となるような取組が行われたか	○	適正に行われていた。
収入増加のための取組が行われたか	○	自主事業を予定以上に実施するなど行われていた。
(4) 適正な管理運営		
適切な人員配置が行われたか	○	適正に行われていた。
職員の能力向上のための取組が行われたか	○	適正に行われていた。
施設の平等な利用が行われたか	○	適正に行われていた。
個人情報の管理が適切に行われたか	○	適正に行われていた。
情報の公開が適切に行われたか	○	適正に行われていた。
収支状況や会計処理が適切か	○	適正に行われていた。
施設・設備の法定点検及び保守が適切に行われたか	○	適正に行われていた。
備品等の管理が適切に行われたか	○	適正に行われていた。
危機管理、安全対策などは十分か	○	訓練を年度末にまとめて行っているため、年間通じて計画的に実施をすること。
法令等を遵守し、適正な管理が行われたか	○	適正に行われていた。
(5) その他コメント		
サービス向上	YouTube でリアルタイムの風景動画を配信し、SNSに対応する取り組みを行うなど、利用者増加に努めた。FM まいづるとの連動企画も実施できた。	
経費削減	指定管理者運営の3年目となり、備品の整理を行い、公園内の手入れを自社で実施するなど、経費削減に努めていた。	
施設の維持・管理	概ね良好であったが、今後は公園の除草や剪定の時季を逃さずに行ってもらいたい。マナーの悪い公園利用への対策に苦慮されることもあったが、十分に対応できた。	

※ (1)から(4)までにおける評価区分

- ◎(優)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準より優れた内容である。
- (良)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に沿った内容である。
- △(可)： 協定書、仕様書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- ×(不可)： 協定書、仕様書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である。

6 選定委員会による評価

評価点	4点	※左記の点数は、各委員が次の5段階評価を行い、その点数を平均したものです。 5：良い、4：やや良い、3：普通、2：やや悪い、1：悪い
総評	利用者数の増加は評価する。 様々なイベントをされているが、参加者数が少ないと思われる。 黒字を評価する。 冬季に雪の影響がなかったことが収支の改善要因と思われる。 人員体制が1日当たり1.75人(委託の人数を除く。)で、適切な管理が可能であるのか疑問がある。 自主事業が切れ目なく行われていることは評価できる。	

《参考》 過年度の評価点

平成29年度	平成30年度	年度	年度	平均
3.33点	3.4点			3.36点